

5・6年生から

『卒業の歌～ぼくたちの挑戦(ちょうせん)～』
(913ホ)

本田 有明(ほんだ ありあけ)／著(ちょ)、
PHP 研究所



ぼくは翔太(しょうた)。6年3組。入院中の ばあちゃんから、歌をつくってと頼(たの)まれた。ぼくが詞(し)をつくると、クラスメイトの細川が曲をつけてくれた。

そんなこともあって、合唱コンクールの曲を自分たちでつくることになった。だけどクラスは まとまりがなく、さらに細川が転校することになって……。これからいったい、3組はどうなるんだ!?



お知らせ

桶川市電子図書館

(おけがわ し でん し と しょかん)



桶川市電子図書館



図書館リようカードとパスワードを持(も)っていて、桶川市内(しない)に住(す)んでいる人、桶川市内の学校(がっこう)に通(かよ)っている人、桶川市内ではたらいっている人が使(つか)えます。

図書館カレンダー

3月						
日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					
お休み	※毎週月曜日、桶川・川田谷図書館はお休みです。					
おはなし会	桶川(おけがわ)図書館 (TEL 771-0303) 川田谷(かわたや)図書館 (TEL 786-8846) 毎週土曜日 午前10時30分～11時					
	坂田(さかた)図書館 (TEL 783-2150) 毎週土曜日 午前11時～11時30分					
	中央(ちゅうおう)図書館 (TEL 786-6353) 毎週土曜日 午後3時～3時30分					

☆これまでの「もりのくまさん」は、桶川市図書館のホームページ(図書館メニュー>児童(じどう)向け図書館だより もりのくまさん)から見(み)られます。



桶川市図書館

☆今月の「もりのくまさん」は小学生向(む)けです。

No, 403



もりのくまさん

おけがわしとしょかん



2025年3月1日発行 桶川市図書館

☆今月の特集(こんげつのとくしゅう)☆

3月9日は、ありがとうの日です。
そこで、今月は、いろいろな
「ありがとう」の本を
紹介(しょうかい)します。



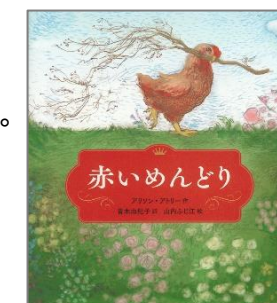
きせきの であい

『赤(あか)いめんどり』(933 ア)
アリソン・アトリー／作(さく)、
青木 由紀子(あおき ゆきこ)／訳(やく)、
山内 ふじ江(やまうち ふじえ)／絵(え)、
福音館書店

ひとりぼっちのおばあさんの家(いえ)のまえに、やせこけためんどりがうずくまっていた。おばあさんがめんどりのために、あたたかいごはんを、ねどこのしたくをすると、めんどりは、ありがとうというように、コッコッと鳴(な)きました。

ところが、めんどりのかい主(ぬし)だった男(おとこ)が、めんどりをとりもどしにやってきて……。

さて、おばあさんとめんどりは、どうするのでしょうか。



1・2年生(ねんせい)から

『バスが来(き)ましたよ』(Eバ)

由美村 嬉々(ゆみむら きき)／文(ぶん)、
松本 春野(まつもと はるの)／絵(え)、アリス館

目(め)の見(み)えなくなった
だんせいが、小学生(しょうがく
せい)に たすけられながら
つづけた、バスつうきん。

「バスが来ましたよ」
その声(こえ)は やがて、
つぎつぎと うけつがれていく
ことになり……。



小(ちい)さなひとこと、小さな手(て)。小さくても
それは おおくの人(ひと)の心(こころ)をつきうごか
した。ほんとうにあった たすけあいの ものがたり。

『ありがとうの道(みち)』(913コ)

小原 麻由美(こはら まゆみ)／作(さく)、
黒井 健(くろい けん)／絵(え)、PHP 研究所

ひだまりの森(もり)には、
春(はる)と秋(あき)に 花(はな)を
さかせる ふしぎな さくらの
木(き)があります。ある日(ひ)、
ヤマネのきょうだいは、
「今夜(こんや)は、あなから
出(で)ては だめよ」という、
ふしぎな 声(こえ)を聞(き)きました。それは、
2 ひきが おうちにしていた、さくらの木の声(こゑ)……。



たくさんの ありがとうに つつまれた とても
すてきな1さつとなっていますので、ぜひ読んでみて
ください。

3・4年生から

『てがみは すてきな おくりもの』(816テ)

スギヤマ カナヨ／著(ちょ)、講談社

心をこめて書くてがみは、
うけとった人を うれしい
気持(きも)ちにします。
見た目も楽しいてがみなら、
もっとうれしい。
葉(は)っぱや 貝(かい)がらのてがみ、
紙(かみ)ざらにケーキを書いた
バスデーカード、かおりや 声(こゑ)のおくりもの……。



いつもとは、少しちがった 手作りのてがみで、
「ありがとう」の気持ちを 伝(つた)えてみませんか？

『大好(だいす)き！ おじさん文庫(ぶんこ)』(017ダ)

深山(みやま) さくら／著(ちょ)、文研出版

山形県(やまがたけん)の
山あいにある小さな小学校に、
ひとりのおじさんから、
本(ほん)を買うためのお金(かね)と手紙(てがみ)が
とどくようになりました。
そのお金(かね)で買った本(ほん)は
「おじさん文庫(ぶんこ)」
と名づけられ、子どもたちに
大切に読(よ)まれるようになりました。でも、そのおじ
さんがどんな人(ひと)なのか、だれも知らないのです。



子どもたちがおじさんに会(あ)える日は、来るのでしょ
うか……？

5・6年生から

『みんなで描(か)こう！ 黒板アート』(725ミ)

すずき らな／著(ちょ)、
子供の科学編集部／編(へん)、誠文堂新光社



卒業式(くわつぎしき)、文化祭(ぶんかさい)、学校行事(がくこうこうじ)で大活躍(やぐ)な黒板
アート。特別な道具(どうぐ)がなくても、黒板(くわくばん)とチョークが
あれば誰(だれ)にでも描(か)くことができます。

この本(ほん)には、まねしたいサンプルやアイデアが
たくさん！ チョークの使い方や 上手(うまい)に描(か)く
ポイントを学(まな)んで、黒板(くわくばん)いっぱい気持ち(きもち)を
込(こ)めて 想(おも)いを伝えよう！

